



2027年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年7月27日

上場会社名 SB「グローバルアセットマネジメント株式会社」
コード番号 4765 URL <https://www.sbiglobalam.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 小笠原 靖行

TEL 03-6229-0812

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	12,823	350.8	2,663	419.1	2,701	240.2	1,389	177.2
2026年3月期第1四半期	2,844	0.0	513	△14.7	793	7.9	501	5.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,907百万円 (536.4%) 2026年3月期第1四半期 299百万円 (△60.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	10.06	10.03
2026年3月期第1四半期	5.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	54,136	42,006	59.6	233.39
2026年3月期	53,027	41,925	61.4	235.91

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 32,256百万円 2026年3月期 32,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	9.00	—	13.75	22.75
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		9.50	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※本件の詳細につきましては、本日(2026年7月27日)公表いたしました「2027年3月期 中間配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。
なお、2027年3月期通期の配当予想額は、現時点で未定であります。

3. 2027年 3月期の連結業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

業績予想につきましては、未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	138,208,023 株	2026年3月期	138,064,311 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	1,823 株	2026年3月期	1,799 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	138,085,086 株	2026年3月期1Q	89,673,475 株
------------	---------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2027年3月期の配当予想)

2027年3月期 (通期) の期末配当予想は未定ですが、今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年7月27日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する概況	2
(2) 当四半期連結会計期間の財政状態に関する概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)は、売上高12,823百万円(前年同期比4.5倍)、営業利益2,663百万円(同5.2倍)、経常利益2,701百万円(同3.4倍)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,389百万円(同2.8倍)となり、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益のすべてにおいて、第1四半期として過去最高を更新いたしました。

当四半期は、S B I アセットマネジメント株式会社、S B I 岡三アセットマネジメント株式会社及びレオス・キャピタルワークス株式会社(2026年12月に「S B I レオス・キャピタルワークス株式会社」に社名変更予定)の3社を中核とする現行のグループ体制で迎えた、初めての事業年度の第1四半期であります。統合2社の業績は前連結会計年度の第4四半期より当社連結業績にフルに寄与しておりますが、前年同期(2025年4月～6月)には両社は連結の範囲に含まれておらず、前年同期比の増収増益の主因はこの統合効果であります。重要な点は、統合の効果が売上・利益の規模の拡大にとどまらないことであります。

連結範囲の拡大に伴い売上原価及び販売費及び一般管理費は増加したものの、増収がこれを吸収し、売上高営業利益率は前年同期の18.0%から20.8%へ改善いたしました。また、合併等により発行済株式数が約5割増加したにもかかわらず、1株当たり四半期純利益は前年同期の5円59銭から10円06銭へと約8割の増加となり、利益の成長が株式数の増加を大きく上回っております。

グループの運用資産残高は2026年6月末時点で約14.0兆円となり、前連結会計年度末(2026年3月末)の約12.2兆円から、当四半期の3か月間で約1.8兆円拡大いたしました。主要運用子会社3社の運用資産残高はいずれも前年同期末比で二桁の拡大(S B I アセットマネジメント+34.8%、S B I 岡三アセットマネジメント+53.5%、レオス・キャピタルワークス+26.1%)となっており、堅調な市場環境による時価の上昇と資金流入がこれを後押ししております。この結果、当社グループの純資産残高は、投資信託協会の集計(運用会社別総合純資産額、2026年6月末)において国内第9位となりました。

当四半期における主な取り組みとしては、2026年5月に設定した「S B I・NASDAQ100インデックス・ファンド」が設定後34営業日で純資産総額800億円を突破したほか、KKRが運用する米国バンクロンを投資対象とする私募ファンドについて、同年6月より国内機関投資家向けに200億円で運用を開始するなど、オルタナティブ領域への展開を進めました。また、株主優待によるファンドの交付を契機として、レオス・キャピタルワークスの直販口座数は拡大を続けております。

(連結業績の概要)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増減	
	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	比率(%) 又は倍
売上高	2,844,585		12,823,074		9,978,488	4.5倍
営業利益	513,102	18.0	2,663,303	20.8	2,150,201	5.2倍
経常利益	793,912	27.9	2,701,009	21.1	1,907,096	3.4倍
親会社株主に帰属 する四半期純利益	501,078	17.6	1,389,138	10.8	888,059	2.8倍

連結売上高は第1四半期として、7期連続の増収、かつ7期連続で過去最高の売上を更新しました。

連結経常利益は第1四半期として、6期連続の増益、かつ4期連続で過去最高益を更新しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期として、4期連続の増益、かつ4期連続で過去最高益を更新しました。

（2）当四半期連結会計期間の財政状態に関する概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,108百万円増加し、54,136百万円となりました。これは、主に流動資産が963百万円増加し、固定資産が146百万円増加したことによるものです。流動資産の増加は主として、営業債権等の回収に伴う現金及び預金の増加1,927百万円と、売上債権が回収と計上の純額で724百万円減少したことによるものです。固定資産の増加は主として、投資有価証券の時価の上昇等による増加401百万円及びそれに伴う繰延税金資産の減少138百万円のほか、固定資産の減価償却に伴う減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,028百万円増加し、12,130百万円となりました。これは、主に流動負債が1,038百万円増加したことによるものです。流動負債の増加は、主として、顧客からの受入れを含む預り金が1,826百万円増加し、法人税等の確定納付及び当第1四半期連結会計期間に生じた親会社株主に帰属する四半期純利益に係る税額計上の結果、未払法人税等が純額で684百万円の減少となったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して80百万円増加し、42,006百万円となりました。これは主として、当第1四半期連結累計期間に1,389百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、1,898百万円の配当を行った結果、利益剰余金が509百万円減少した一方、非支配株主に帰属する四半期純利益及びその他の包括利益により非支配株主持分が392百万円増加し、新株予約権（ストックオプション）の行使に伴い資本金及び資本準備金が合計で69百万円の増加となり、投資有価証券の時価の上昇や為替換算レートの変動等に伴う増加が125百万円生じたことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当事業と関連性の高い金融市場の動向を当期を通じて想定するのは難しく、故に当社グループの業績を合理的な算定で行うことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,848,683	23,775,923
売掛金	11,791,018	11,066,438
棚卸資産	8,231	7,187
未収入金	185,343	-
営業投資有価証券	852,722	835,909
顧客分別金信託	2,100,000	2,100,000
その他	1,039,174	1,002,907
流動資産合計	37,825,174	38,788,365
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	838,817	674,127
減価償却累計額	△284,175	△201,540
建物附属設備（純額）	554,641	472,586
工具、器具及び備品	456,736	449,415
減価償却累計額	△355,922	△362,461
工具、器具及び備品（純額）	100,813	86,954
使用権資産	103,456	86,743
有形固定資産合計	758,911	646,284
無形固定資産		
のれん	1,504,551	1,494,936
ソフトウェア	1,010,421	1,010,917
その他	13,223	13,372
無形固定資産合計	2,528,197	2,519,226
投資その他の資産		
投資有価証券	10,843,005	11,244,782
繰延税金資産	397,837	259,729
退職給付に係る資産	103,024	107,580
その他	564,696	564,528
投資その他の資産合計	11,908,564	12,176,621
固定資産合計	15,195,673	15,342,131
繰延資産		
株式交付費	6,727	6,073
繰延資産合計	6,727	6,073
資産合計	53,027,575	54,136,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,471	18,335
未払金	6,571,247	6,584,036
リース債務	76,577	79,826
未払法人税等	1,541,903	857,706
未払消費税等	399,334	459,084
賞与引当金	367,155	32,500
資産除去債務	61,446	61,598
その他	1,450,206	3,437,193
流動負債合計	10,491,344	11,530,281
固定負債		
リース債務	26,879	6,916
役員退職慰労引当金	11,240	11,700
繰延税金負債	111,698	206,198
退職給付に係る負債	152,365	96,518
資産除去債務	248,327	249,057
その他	59,791	29,717
固定負債合計	610,302	600,108
負債合計	11,101,646	12,130,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,739,398	3,774,245
資本剰余金	13,023,501	13,058,413
利益剰余金	15,227,325	14,718,104
自己株式	△1,070	△1,085
株主資本合計	31,989,155	31,549,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,770	48,775
為替換算調整勘定	564,649	607,267
退職給付に係る調整累計額	27,253	50,832
その他の包括利益累計額合計	581,132	706,875
新株予約権	60,597	62,281
非支配株主持分	9,295,042	9,687,345
純資産合計	41,925,928	42,006,181
負債純資産合計	53,027,575	54,136,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,844,585	12,823,074
売上原価	1,421,832	7,602,585
売上総利益	1,422,753	5,220,489
販売費及び一般管理費	909,650	2,557,185
営業利益	513,102	2,663,303
営業外収益		
受取利息	43,857	30,962
受取配当金	23,516	1,907
為替差益	-	1,238
暗号資産売却益	213,501	-
その他	837	4,390
営業外収益合計	281,712	38,499
営業外費用		
為替差損	839	-
株式交付費償却	61	653
その他	-	140
営業外費用合計	901	793
経常利益	793,912	2,701,009
特別利益		
投資有価証券償還益	-	177
特別利益合計	-	177
特別損失		
投資有価証券売却損	-	3
投資有価証券償還損	-	588
特別損失合計	-	591
税金等調整前四半期純利益	793,912	2,700,594
法人税、住民税及び事業税	276,194	800,584
法人税等調整額	9,708	167,183
法人税等合計	285,902	967,767
四半期純利益	508,010	1,732,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,931	343,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	501,078	1,389,138

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	508,010	1,732,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,072	85,505
繰延ヘッジ損益	2,766	-
為替換算調整勘定	△106,011	42,618
退職給付に係る調整額	-	46,233
その他の包括利益合計	△208,318	174,356
四半期包括利益	299,692	1,907,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,896	1,514,881
非支配株主に係る四半期包括利益	6,796	392,302

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

当社グループは、「資産運用事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、従来「アセットマネジメント事業」と「ファイナンシャル・サービス事業」に区分しておりましたが、当第一四半期連結累計期間から「資産運用事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、直接的な投資運用業を行うアセットマネジメント事業が飛躍的な拡大を続けるなか、ファイナンシャル・サービス事業で行う投資信託等の金融情報データ提供や資産運用・資産形成セミナー活動等に関しても、アセットマネジメント事業との関連性や補完性が高まり、より一体的な事業運営が進展していることを踏まえ、当社グループの事業展開、経営資源の配分及び経営管理体制の実態の観点から、「資産運用事業」の単一セグメントとして管理することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この変更により、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間におけるセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	96,757千円	209,747千円
のれんの償却額	27,721	28,274